# 地域公共バス「池 07 系統」運行支援事業について

#### 事業概要

平成23年3月から江古田二又と池袋駅西口間を結ぶ「池07系統」を、区民の利便性の向上のた め、池袋駅東口のサンシャインシティ方面まで延伸し、区は、社会実験として運行支援事業を開始し た。社会実験では、乗車状況や利用者の意識調査から事業評価を行い、平成28年度に公共交通会議 による運行継続の承認を受け、現在、区の地域公共バス運行支援事業補助金交付要綱に基づき継続運 行している。

#### 2. 継続運行評価について

本系統の継続運行については、平成28年度に開催した本会議において、過度な財政負担を避 けるため、評価検証のモニタリングを引続き行い、2年連続して継続運行基準を満たしていない 場合、廃止を含めた検討を行うとしている。このため本年度も引続きモニタリングを行い、継続 運行に係る評価を実施した。

かつ

#### (1) 運行継続基準

### ■評価指標①

### 収支率

収入に対する運行経費の割合

#### ■運行継続基準

40.0%以上

ただし、シルバーパス利用を考慮し、収支 率が 40%を下回った場合でも、「1 便当た りの利用者数」が「20.0人 以上」であれ ば、基準を満たすものとする。

### ■評価指標②

### 満足度

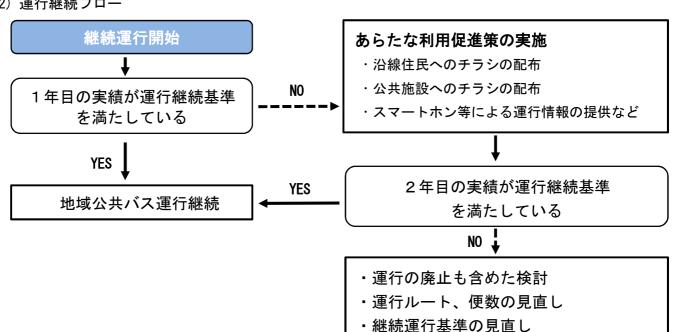
利用者の4施設(健康プラザ・区役所・ あうるすぽっと・サンシャインシティ) への行きやすさに対する満足度

### ■運行継続基準

50.0%以上

4 施設平均の満足度(満足、やや満足) が 50.0%を下回らない

#### (2) 運行継続フロー



## 3. 平成 31 年度評価結果

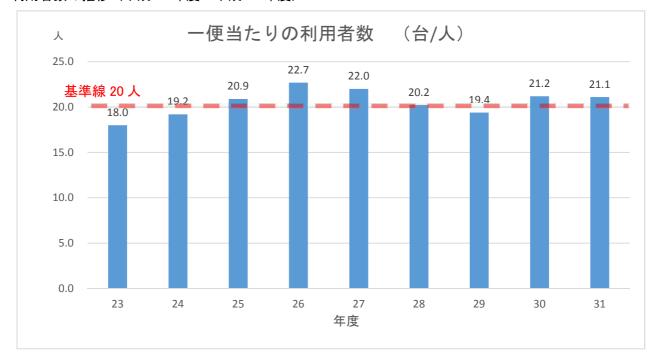
(1) 評価指標①: 収支率\_42.4% (収支率については前年度決算で評価)

収支率の推移(平成23年度~平成30年度)

(単位:千円)

	収入	支出	その他支出	収支率(%)	区補助金	年間乗車人	利用者一人当
	1	2	3			数(人)	りの区補助額
				収入/支出②	(2+3)		(円/人)
年	・現金	運行経費	・工事費	=1/2	-①	※一週間全便	
度	・IC カード	その他支出	・車両償却費			調査による推	区補助金/年間
	・シルバーパス	(工事費等)	・ラッピング			計値	乗車利用人数
	等	を除く	費用等				
0.0	11 019	07 100	7 741	40 G	00.000	104 700	000
23	11, 013	27, 138	7, 741	40.6	23, 866	104, 780	228
24	10, 868	26, 877	11, 274	40.4	27, 283	111, 592	244
25	11, 455	27, 164	5, 395	42. 2	21, 104	121, 472	174
26	11, 768	27, 637	6, 634	42.6	22, 503	132, 028	170
27	12, 505	31, 123	14, 689	40. 2	33, 307	128, 128	260
28	11, 111	27, 061	648	41. 1	16, 597	117, 520	141
29	11, 363	27, 306	644	41.6	16, 587	113, 048	147
30	11, 777	27, 768	1, 154	42. 4	17, 145	123, 396	139
31						122, 680	

# (2) 評価指標①:1 便当たりの利用者数\_**21.2 人(平成31 年度調査)** 利用者数の推移(平成23 年度~平成31 年度)

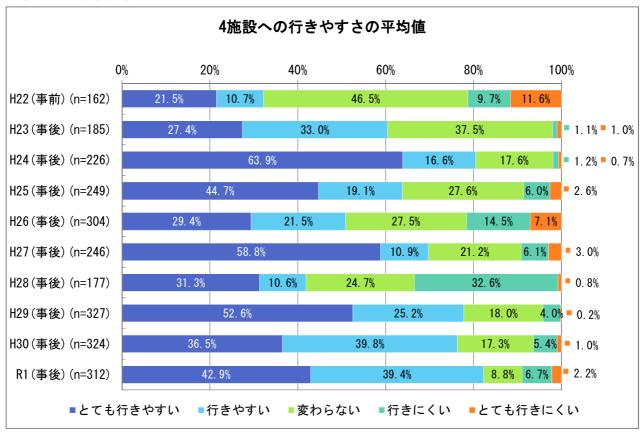


※一週間全便バス乗降客数調査より(平成31年度調査:令和元年7月16日~22日)

### (3) 評価指標②:満足度\_82.3% (「とても行きやすい」「生きやすい」の計)

東池袋方面の公共施設や商業観光施設 (健康プラザ・豊島区役所・あうるすぽっと・サンシャインシティ) への行きやすさに対する利用者の満足度

調査日:令和元年7月16日~22日



※利用者アンケート調査より(平成30年度調査:平成30年7月1日・3日)

#### (4) 結論

部/年·古 日	評価技	評価指標②	
├ 評価項目 ├	収支率	1便当たりの利用者数	満足度
運行継続基準	40.0%以上	20.0 人以上	50.0%以上
30 年度	42. 4%	21.2人(参考)	76. 3%
31 年度	R2. 5 月頃確定	21.1人(参考)	82. 3%

評価指標のうち、平成30年度収支率は42.4%、平成31年度満足度は82.3%であることから、継続運行基準を満たしているため継続運行とする。

来年度以降も利用促進策を講じ潜在需要の顕在化を図り、モニタリングを継続する。